

これからの人権保障

1 単元のねらい

- ・社会の変化に伴って人権の考え方が変化していく中でも、民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解させる。
- ・対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配などに着目して，社会の変化に伴って新しい人権が認められてきた理由について，対話的な活動を通じ，多面的・多角的に考察，表現させる。
- ・社会の変化に伴って新しい人権が認められてきた理由について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとさせる。

2 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元 の 評 価 規 準	社会の変化に伴って人権の考え方が変化していく中でも、民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解している。	対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配などに着目して，社会の変化に伴って新しい人権が認められてきた理由について，対話的な活動を通じ，多面的・多角的に考察，表現している。	社会の変化に伴って新しい人権が認められてきた理由について，現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。

●学習改善につなげる評価 ○評定に用いる評価

	1	2	3	4 まとめ の活動	5 活用
知識・技能	●	●	●○		
思考・判断・表現	●	●	●○	○	○
主体的に学習に 取り組む態度			●	○	○

3 単元構造図(全5時間) ☆獲得する認識

単元名

これからの人権保障

単元学習前の生徒の意識

前単元でさまざまな人間の権利を学んできたが、社会の変化に伴い、どんな問題が起こり、それをどのように解決するとよいかわからない。

第1時 新しい人権① 産業や科学技術の発展と人権【●知識・技能 ●思考・判断・表現】

産業や科学技術の発展にともなって、どんな課題が生まれ、どのような権利が認められてきたのだろう

☆新しい人権 ☆環境権 ☆自己決定権 ☆環境基本法 ☆日照権 ☆環境アセスメント ☆幸福追求権
☆インフォームド・コンセント

産業や科学技術の発達、情報化の進展により、公害問題や生命と人権の間に課題が生まれ、近年日本国憲法に規定されていない権利が「新しい人権」として主張されるようになってきたことがわかった。環境権や環境アセスメント、自己決定権やインフォームド・コンセントについて、メリットとデメリットを理解して私たちはどのようにこの課題を解決していくか考えていきたい。

新しい人権が認められてきたのはどうしてだろう

第2時 新しい人権② 情報化の進展と人権【●知識・技能 ●思考・判断・表現】

情報化の進展にともなって、どんな課題が生まれ、どのような権利が認められてきたのだろう。

☆知る権利 ☆プライバシーの権利 ☆情報公開制度 ☆マスメディア ☆肖像権 ☆知的財産権
☆個人情報保護制度

国民が主権者として政治に参加するために知る権利が認められ、情報公開制度などの整備も進められてきた。しかし、プライバシーの権利が侵害されることも多く、私たちが情報を扱う態度を考えていくべきと感じた。

第3時 グローバル社会と人権【○知識・技能 ●思考・判断・表現 ●主体的に学習に取り組む態度】

国際社会にはどんな人権上の問題があり、解決に向けてどんな取り組みがあったのだろう。

☆世界人権宣言 ☆国際人権規約 ☆NGO(非政府組織)

国際社会では、弱い立場に置かれた人々や教育を受けられない人もいる。これらの問題を解決するために、世界人権宣言や国際人権規約の採択を皮切りに、締約国に人権の保障を義務づけていく動きを生み出していった。グローバル化が進んだ今日では、社会問題は地球規模で結びついており、人権問題や社会問題の解決に向けて、国際的なNGOの活動などの注目を集めていることがわかった。

第4時 ちがいのちがいを追究しよう【○思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度】

私たちの生活の中での人権上の課題について、どのように解決すべきか話し合おう。

私は保育士を募集する広告に「女性のみ」と書いてあったことについて考えた。このちがいについて、私は「あってはならないちがい」だと考えました。その根拠は、日本国憲法第14条に「すべての国民は、法の下に平等」と定められ、男女雇用機会均等法などの法律も整備されているからだ。様々な人の意見を取り入れながらさらに考えたい。

第5時 人権のまとめ 《活用》【○思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度】

これまで学んできた人権についてレポートにまとめよう。

日本でも世界でも人権を守るために制度や法律が整備されていることがわかった。この単元で学んだ権利や制度などを生活に生かして、差別や偏見のない誰もが安心して暮らせる社会にしていきたい。まず自分から行動していきたい。

単元学習後の生徒の意識

産業や科学技術の発展、情報化の進展など社会の変化に伴って人権に関わる新たな問題が起こったときにどのように解決するとよいかわからなかったが、法律が整備されていることや国際的にも人権を尊重する考え方をするようになってきたことなどを踏まえて、一人一人が人権を考えた行動をしていけばいいことがわかった。

4 単元指導計画

時	ねらい	学習活動	評価規準	◇資料 指導・援助
1 新しい人権 ① 産業や科学技術の発展と人権	<p>環境権や自己決定権が主張されるようになった背景について調べる活動を通して、産業や科学技術の発展が要因となっていることを理解し、新しい人権がどのような対立を解消するためのものか、適切に表現している。</p> <p>☆新しい人権 ☆環境権 ☆自己決定権 ☆環境基本法 ☆日照権 ☆環境アセスメント ☆幸福追求権 ☆インフォームド・コンセント</p>	<p>1 本時の学習課題を設定する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">産業や科学技術の発展にともなって、どんな課題が生まれ、どのような権利が認められてきたのだろう。</p> <p>2 資料から考えたことを交流する。 ・マンションを階段状にして隣のマンションに日があたるようにしている。 ・臓器提供をするという意味をカードで示すことができる。</p> <p>3 資料から事実を読み取り、環境権や自己決定権の背景についてまとめる。 環境権を例に ・高度経済成長期の四大公害病 →良好な環境を求める権利としての環境権 →環境基本法として法制化 開発時の環境アセスメント</p> <p>4 本単元を貫く課題を設定する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新しい人権が認められてきたのはどうしてだろう</p> <p>5 本時のまとめをする。</p> <p>産業や科学技術の発達、情報化の進展により、公害問題や生命と人権の間に課題が生まれ、近年日本国憲法に規定されていない権利が「新しい人権」として主張されるようになってきたことがわかった。環境権や環境アセスメント、自己決定権やインフォームド・コンセントについて、メリットとデメリットを理解して私たちはどのようにこの課題を解決していくか考えていきたい。</p>	<p>環境権や自己決定権など「新しい人権」が認められてきた理由について、理解している。 (知識・技能) 新しい人権がどのような対立を解消するためのものか、その関係について、適切に表現している。 (思考・判断・表現)</p>	<p>◇北九州市の環境の変化 ◇日照権に配慮したマンション ◇臓器提供意思表示カード</p> <p>前単元までで学んだ人権と関連させ、新しい人権が誕生した背景について自分の考えが書けるようにする。</p>
2 新しい人権 ② 情報化の進展と人権	<p>「知る権利」と「プライバシーの権利」について資料をもとに調べたり考えたりする活動を通して、「プライバシーの権利」と表現の自由の関係の難しさに気づき、情報化の進展に伴って生じた新たな課題の解決策について考えることができる。</p> <p>☆知る権利 ☆プライバシーの権利 ☆情報公開制度 ☆マスメディア ☆肖像権 ☆知的財産権 ☆個人情報保護制度</p>	<p>1 「知る権利」・「プライバシーの権利」について知る。</p> <p>2 本時の学習課題を設定する</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">情報化の進展にともなって、どんな課題が生まれ、どのような権利が認められてきたのだろう。</p> <p>3 情報公開制度や個人情報保護制度の確認をする。 情報公開制度（法） 主権者として、地方公共団体の情報を知りたい→「知る権利」 個人情報保護制度（法） 個人情報の流出はプライバシーの侵害になる→「プライバシーの権利」</p> <p>4 プライバシーの権利と表現の自由について考える。</p> <p>5 本時のまとめをする。</p> <p>国民が主権者として政治に参加するために知る権利が認められ、情報公開制度などの整備も進められてきた。しかし、プライバシーの権利が侵害されることも多く、私たちが情報を扱う態度を考えていくべきと感じた。</p>	<p>情報化の進展に伴う具体的な課題と認められてきた権利の関係について、理解している。 (知識・技能) インターネットの発達など、情報化の進展に伴ってどのような課題が生まれどのような権利が認められてきたのか、適切に表現している。(思考・判断・表現)</p>	<p>◇国の情報公開制度 ◇個人情報保護制度 ◇プライバシーの権利と表現の自由について考えよう</p> <p>2つの制度について調べ、新しい人権が誕生した背景について自分の考えが発表できるようにする。</p>

<p>3 グローバル社会と人権</p>	<p>国際社会における人権保障に関する資料を調べる活動を通して、人種に関係なく平等な権利をもつ考えが人々の間に広がったことに気づき、基本的人権を尊重する大切さが国際社会で重要視されていることを理解することができる。</p> <p>☆世界人権宣言 ☆国際人権規約 ☆NGO (非政府組織)</p>	<p>1 本時の課題を設定する。</p> <p>国際社会にはどんな人権上の問題があり、解決に向けてどんな取り組みがあったのだろうか。</p> <p>2 資料から事実を読み取り、国際社会における人権上の問題と人権保障の広がりについてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際社会では、弱い立場に置かれた人々や教育を受けられない人もいるのだな。 ・国際社会では、世界人権宣言を皮切りに、様々な人権条約が採択されているのだな。 <p>3 国際連合の人権保障政策について学ぶ。 1948年 世界人権宣言 1966年 国際人権規約</p> <p>4 本時のまとめをする。</p> <p>国際社会では、弱い立場に置かれた人々や教育を受けられない人もいる。これらの問題を解決するために、<u>世界人権宣言や国際人権規約</u>の採択を皮切りに、締約国に人権の保障を義務づけていく動きを生み出していった。グローバル化が進んだ今日では、社会問題は地球規模で結びついており、人権問題や社会問題の解決に向けて、国際的なNGOの活動などの注目を集めていることがわかった。</p>	<p>人権保障のために様々な条約があることを理解している。 (知識・技能) 人権上の課題の解決に取り組む組織と、なっている役割について考察している。 (思考・判断・表現)</p>	<p>◇世界人権宣言 ◇主な人権条約 国際社会での人権保障に関連づけて自分の考えをもてるようにする。</p>
<p>4 ディベートにチャレンジ</p>	<p>小集団交流を通して、人間の尊重に関する自分の主張をわかりやすく表現したり、仲間の意見を聞いて考えを深めたりすることができる。</p>	<p>1 学習の流れを説明する。</p> <p>流れ ①トゥールミン図式について確認 ②カードの選択 (教科書P70) ③自分の考えの確認 ④小集団での意見交流</p> <p>テーマ ちがいのちがいについて考えよう</p> <p>私たちの生活の中での人権上の課題について、どのように解決すべきか話し合おう。</p> <p>2 カードを選択する。 [カード5] 保育士の「女性のみ」の募集 [カード6] 芸能人の個人情報 [カード9] 日照権の問題</p> <p>3 自分の考えを確認する。 4 小集団で交流する。 5 全体でどんな解決策が出たか確かめる。 5 本時のまとめをする。</p> <p>私は保育士を募集する広告に「女性のみ」と書いてあったことについて考えた。このちがいについて、私は「あってはならないちがい」だと考えました。その根拠は、日本国憲法第14条に「すべての国民は、法の下に平等」と定められ、男女雇用機会均等法などの法律も整備されているからだ。様々な人の意見を取り入れながらさらに考えたい。</p>	<p>対話的な活動を通じて、政治が日本国憲法に基づいて行われていることについて、多面的・多角的に考察、表現している。 (思考・判断・表現) 自らの学習を振り返り、主体的に社会に関わろうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	<p>◇資料カード これまで学習してきた人権の考え方を自分の主張の根拠にして考えられるようにする。 これまで学習してきた知識をもとに、仲間の意見を聞きながら自分の意見の中にある価値観を再構築し、よりよい意見を考えられるようにする。</p>
<p>5 人権</p>	<p>これまで学習してきた人権をレポートにまとめることで、本単元を振り返り、人権を守ることが大切だと考え、自分の意見を表現することができる。</p>	<p>1 今まで学習してきた人権についてまとめる。</p> <p>これまで学んできた人権について、レポートにまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分自身が学んだ人権について具体的な事例をもとにまとめる。 ・これから自分自身はどのように人権を守っていくか人権に関する自分自身の考えを表す。 <p>日本でも世界でも、人権を守るために制度や法律が整備されていることがわかった。この単元で学んだ権利や制度などを生活に生かして、差別や偏見のない誰もが安心して暮らせる社会にしていきたい。まず自分から行動していきたい。</p>	<p>これまで学習してきた人権の内容を活用し、レポートにまとめられたか。 (思考・判断・表現)</p>	<p>◇学習ノート ◇学習資料 これから自分自身がどのように人権を守っていくのかを考える。</p>